

# シリーズ 戦争法強行1年で考える

安倍自公政権による安保法制＝戦争法の強行と、この立憲主義を壊す選挙を受けた日本共産党・志位和夫委員長の「戦争法廃止の国民連合政府」提案から19日で1年になります。いまの

局面をどうみるか。シリーズで聞いていきます。初回は政治学者の白井聡さん（京都精華大学人文学部専任講師）です。（渡辺健）

政治学者、京都精華大学専任講師 白井 聡 さん

## 共闘の大きな力

——市民の運動は続いて  
いますね。  
——東北はずいぶん、野党統一候補が勝つ敗つからね。やはりTPP（環太平洋連携協定）が大きいでしょう。野党が自民党に対抗するだけでなく、

野党統一候補が勝つ敗つからね。やはりTPP（環太平洋連携協定）が大きいでしょう。野党が自民党に対抗するだけでなく、

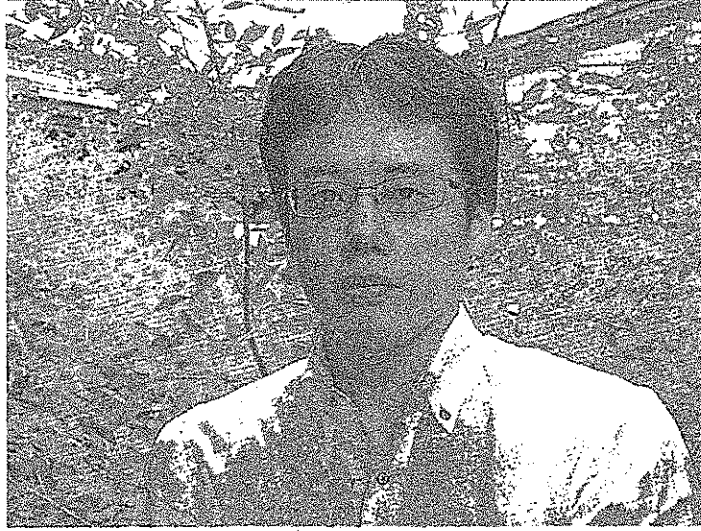
野党統一候補が勝つ敗つからね。やはりTPP（環太平洋連携協定）が大きいでしょう。野党が自民党に対抗するだけでなく、

野党統一候補が勝つ敗つからね。やはりTPP（環太平洋連携協定）が大きいでしょう。野党が自民党に対抗するだけでなく、

## 真の改革政党は

——おおよそ維新の会  
（現・日本維新の会）も「改革」ポスターを  
立てていますが、真の改革政党  
の見分け方は、

今の世の中の根本的な矛盾を  
維新の会の前代表、橋下徹氏は、いろいろな人に懸念



しらい・さとし 1977年、東京生まれ。政治学者、思想史家、京都精華大学人文学部専任講師。著書に『永続敗戦論』（石橋湛山賞、角川財団学芸賞受賞）、『戦後政治を終わらせる』など。思想家の内田樹氏との対談・共著に『日本戦後史論』『属国民主義論』。

# 政治を動かし変える市民革命へ 日本社会の“本当の体力”問われる

を投げつけることを、最大の手法にしてみました。しかし、彼は、アメリカにこそ財界にも「泥」を投げたことがありません。そのお得意の手を権力のご真ん中に対しては絶対に使わない。反撃されなまそうな弱い者のいじめはやるけれど、

## 組織化が力ギに

——政権への批判が強まれば強まるほど、分断攻撃も強まります。  
安倍政権の権力への執念はすごい。野党共闘攻撃、共産党攻撃もますます激しくなるでしょう。選挙中の「改進黨」など不誠実なごまかしも増えそうです。  
フランス的な手法にも警戒が必要ですよ。

政治・経済、社会が全般的にうま〜いかなくなる。全体的に悪い感情が芽生えがちです。その悪い感情を美徳的に取り除くような努力をするというのが、まっとうな政治ですが、悪い感情に依拠して、自分の権力を維持しようとする政治家が出てきます。それがフランスムです。

9/13 五旗

——そのためには、何が  
必要ですか。  
日本社会の持っている本当の体力が問われます。まっとうな考えでまっとうなことをする人たちの力が、悪い流れを止め返すだけの力を持てるかどうか。その時に、一人ひとりの力ではだめです。個別撃破されて終わりです。安倍政権あかんよな、という勢力を、どれだけ組織化できるかが、ほんたにキー（鍵）